

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 13-002

PDCA	事務事業名	墓地管理事業	部課等名	市民経済部 環境課	担当	佐野	
					内線等	333	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第3節 生活環境の向上					
		基本施策： 3. 環境衛生対策					
		単位施策： (1) 斎場・市営墓地の整備					
	根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律、半田市墓地条例					
	対象・目的	市営墓地が故人をしのぶ場として相応しい施設となるよう、利便性、公衆衛生、福祉の立場から適切な管理運営を行うよう努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	墓地内の樹木剪定・除草及び清掃を適切に行い、墓地全体が利用者にとって快適な空間となるよう管理する。 また、新規申込、使用権承継、住所等変更、埋蔵物届等の各種手続を利用者に正しく行ってもらうことで、墓地台帳の適正化を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		樹木剪定及び除草委託日数	53	56	73	日	
		老人クラブ等による除草清掃活動	34	35	34	回	
		使用権承継許可申請の処理件数	885	1,361	618	件	
		事業費	13,122	13,404	16,177	千円	
		人件費	6,904	9,198	7,653	千円	
		総事業費	20,026	22,602	23,830	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		墓地面積1㎡あたり管理コスト	224	253	267	円	
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		使用者不明区画の解消件数	実績値	1,117	1,648	—	区画
		目標値	1,100	1,680	—		
		墓地管理計画の策定完了	実績値	—	—	完了	区画
		目標値	—	—	完了		
置手紙で判明した区画使用者で、承継手続き未済者数		実績値	—	—	459		
目標値		—	—	0			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	C 有識者や墓地使用者で構成する半田市墓地管理計画策定委員会での議論やパブリックコメント手続きを経て「半田市墓地管理計画」を策定し、今後の市営墓地の維持管理や整備に関する基本方針を定めることができた。一方で、使用者不明区画の解消が思うように進まなかった。また、墓地管理システム上の区画と実際の区画の整合が取れていない可能性もあるため、今後の方針である管理料の徴収に向けて、「徴収対象者の特定」という点において課題である。					
		今後の事業の方向性	改善推進 市営墓地を利用者にとってより快適な施設として整備し、適正な維持管理が行えるよう、墓地管理計画で定めた基本方針※の実現に向けて取り組む。 ※墓地ごとの特性に応じた維持管理及び整備、受益者負担及び無縁化の防止につながる管理料の徴収、合葬墓の整備など。				
			令和3年度の目標	成果指標	目標値		単位
置手紙で判明した区画使用者で、承継手続き未済者数				0		区画	